

誓いも新たに



成人式開催



1月10日(月)、江田島市になって初めての成人式が江田島市農村環境改善センターで開かれ、スーツや振り袖、自衛隊制服などの新成人238人が参加しました。

式典では曾根市長が「これから先、社会の大きな荒波にもまれ多くの困難にぶつかるともあると思いますが、人としての尊厳を決して忘れることなくあらゆる可能性を信じ、プラス思考で失敗を恐れずにチャレンジして、これからの人生を大きく歩んでいただきたい」と式辞を述べました。その後平岡昭教育委員長があいさつし、来賓がそれぞれ祝辞を述べました。

市長から新成人代表の和西雅子さんへ記念品が贈呈されると、和西さんが「成人として認められた本日の感激と感謝の気持ちを大切にし、これから鍛錬と経験を積み、逆に誇られるような大人としての意識を高めていきたい」と謝辞を述べました。

その後新成人4人が誓いの言葉を発表し(次ページに要約)、ボクシング元WBA世界ミドル級チャンピオンの竹原慎二さんの記念講演が行わ

れました。講演ではボクシングを始めたきっかけや、20歳の自分のことについて語った後、竹原さんを相手にして新成人の中から4人がボクシングのミット打ちを実際に体験しました。

「成人の日」のはじめ

「成人の日」は、昭和21年11月22日に、埼玉県蕨(わらび)市で行われた「青年祭」がもとになっています。その中で「成年式」が行われ、好評を博したことから昭和23年に1月15日が「成人の日」に定められました。平成12年には「ハッピーマンデー」の導入により、成人の日が1月の第2月曜日となり、現在に至っています。

現在、僕は大学生であり両親やいろんな方々にお世話になりながら生活しています。一人暮らしをしていくなかで日々の生活の大変さを感じています。家族のありがたみを強く感じると同時に、自分のこれまでを見つめなおし自立するいい機会と思い生活しています。

の意思を持ち、自分なりに行動しなければなりません。周りの情報や噂などに流されるのではなく、自分というものを持たなければならぬと思っています。

私は今看護士を目指すため、働きながら専門学校で学んでいます。学校や実習以外では、お世話になっている病院で勤務し、先輩の看護士さんの指示で患者さんの援助やケアをさせていただいております。

その中で自分の行動がどうい

う結果をもたらすのかよく考えて行動すること、つまり責任をもつことが重要だと痛感しました。これまで生きてきて、父母、祖父母、兄弟、友人、先輩、後輩、地域の方々に支えられてきたことを振り返って、決して自分のためだけに生きるべきではないと思えるようになってきました。

本日、私たちは成人としての第一歩を踏み出しました。社会の一員になったといても、私は現在学生であり、まだまだ多くの方々のお世話になりながら生活しています。私は大学で福祉を学んでいます。将来、介護サービスの必要な人一人一人に合ったサービスを考え、相手がどういう気持ちなのか、また周りの状況を把握しつつ、問題に対応していくことのできるソーシャルワーカーになりたいと思っています。



とまりの かな 泊野 可奈 さん



しんぐう ともゆき 新宮 智之 さん



おいかわ としき 及川 利輝 さん



あきおか いくえ 明岳 郁恵 さん

かっているいろいろなことにチャレンジしながら、自分の道を切り開いていきたいと思えます。迷い、行き詰まったときには、周りの方々の意見を参考にし、失敗を恐れず進んでいきたいと思えます。本日は誠にありがとうございます。

私は一昨年の春、故郷岩手の高校を卒業し、長年憧れていた海上自衛隊に入隊しました。当地において無事成人式を迎えられたことを大変嬉しく思っております。

現在の世界は激動の時代といえるほど、目まぐるしい変化の下にあります。わが国もまた緊張と変化の中にあり、必ずしも安全で平和な国であるとは言えなくなってきました。そのような状況だからこそ、一自衛官として自分ができることは何か、また成人を迎えた今何をなすべきかを常に自分に問いただし、行動していきたいと思えます。

